

平成29年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立北村小学校
教諭 後藤 清丈

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。日本国憲法には、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と明記されている。具体的には、教育や社会福祉、道路や公園の整備、警察や消防など、住みよい町をつくる国や地方公共団体の財源となる。しかし、大人でもどれだけの人が税金の種類や役割を認識し、納税しているのかは疑問である。

これまで、税について学習してきたのは、社会の学習で「租、庸、調」や「年貢」などであり、児童は、税を納めることの厳しさや苦しきといったイメージをもっている。具体的な「税の働き」については、6年生の社会科の下の教科書で扱う内容である。

そこで、児童の税に対する意識を高めるために、租税教室を実施することにした。税の大切さや必要性について関心を持ち、政治や国の将来について考えていけるようにしたいと考える。

2 児童の実態

本学級は6年生、男子6名、女子9名、計15名の児童が在籍している。事前に「税」に関するアンケートを行った。結果は次のとおりである。(すべて複数回答あり)

1. 「税」と聞いてどんなイメージをもちますか？

- ・お金をはらうこと (5) 年貢 (7) ・値上げ
- ・働いたり、布をわたしたりする。(2)

2. 「税」の種類で知っているものはなんですか？

- ・消費税 (13) ・租、庸、調 (5) 所得税 関税

3. 税金はどこに納められると思いますか？

- ・銀行 (4) ・国 (8) ・市 (2) ・県 ・警察

4. 税金は、何に使われていると思いますか？

道路を作る (4) 店を作る お年寄りのために使う 病気の人のため
復興のため (5) 災害の支援 (3) わからない 学校を建てる

5. 税金の使い道はどこで決めていると思いますか？

偉い人 (3) 市役所の人 総理大臣 (3) 市長 知事 (3) 国 (3) 市 天皇
議員 (2) わからない

6. 税金は必要だと思うか？

必要 (15)

- ・復興のために必要 (5) ・ないと道路など作られないから (3)
- ・貧しい国の人たちのために必要 (3) ・私たちの生活のために必要
- ・災害が起きたとき助けてもらえない ・なんとなく (2)

7. 税金について知りたいことは？

税金の使われ方 (9) 税金の種類 (7) 税金はどこに行くのか (3)

なぜ、税金があるのか (2) なぜ、税金がうまれたのか 税金がないとどうなるのか

税金はだれが決めているのか (3) なぜ税金がだんだん上がっていくのか

1年でどれくらいの税金があつまるのか 税金の使い方はだれが決めているのか (2)

児童は、税金について詳しく学習していないため、関心が低い。歴史の学習で習った「租、庸、調」や年貢のイメージが高い。税金の種類についても、自分たちと直接かかわりのある消費税については、知っているが、それ以外の税金について、名前すら知らない児童がほとんどである。それ以外の基礎的な知識についても、認識が低い。ただ、税金についてはすべての児童が必要と感じており、漠然とではあるが、税金は、自分たちの生活のために、活用されているであろうということを感じているようだ。この学習を通して、税金についての正しい理解を深め、納税者としての意識を高めていきたい。

3 指導にあたって

指導にあたっては、次の3点について留意していく。

- ①社会科の歴史や政治の学習の中で「税金」に関わる単元を意識して取り上げ、税金に触れさせながら学習に取り組みさせていく。
- ②税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていく。
- ③学習した内容を新聞や絵はがきなどで表現し、納税義務と税に対する適正な用途についての意識を高めさせるようにする。

4 指導計画（3時間扱い）

時間		学習内容
時間外		「税に関するアンケート」 ・アンケートに記入する。
1	租税教室	「実践授業」 租税教室：わたしたちの生活と税 ※ゲストティーチャー 法人会 青年部
2	事後指導	「租税教室を終えて」 ・税について分かったことを新聞にまとめる。
3	事後指導	「税に関する絵はがきコンクール」

5 社会科との関連

(1) 『日本の歴史』においておさえさせた語句や内容

○天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」

- ・班田収授の法＝戸籍と計帳を作成し、土地を人民に貸し与え、それをもとに課税した。
- ・「租庸調」＝税や労役を課す制度を改革し、人々に「租庸調」の税を納めさせた。
- ・平城京のにぎわいを支えるため、地方の人々が重い税を納めさせられた。

○武士の世の中「人々のくらしと身分」

- ・秀吉の太閤検地＝どの土地をどの農民がたがやし税を納めるかを検地帳に記した。
- ・「年貢を納める」ことに反抗し、百姓一揆が起きた。
- ・百姓は五人組というまとまりをつくり、「収穫の半分にもなる重い年貢」を納めさせられた。
- ・明治政府の諸政策「地租改正」＝土地の価格の3%を現金で納める。

(2) 『わたしたちの生活と政治』においておさえさせたい語句や内容

○わたしたちの願いを実現する政治

- ・「税金の働きを調べる」
- ・国民の義務「納税の義務」



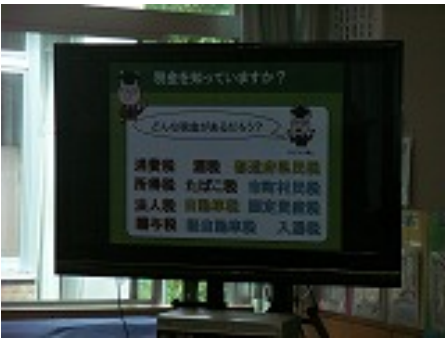
6 実践内容



【租税教室：わたしたちの生活と税】

(1) 目標：税の種類や意味、使われ方などを知り、税に関する関心を高める。

(2) 実施期日：平成29年8月29日（火）

(3) 実践の様子

段階	学習活動 ○発問 ◎支援 ・児童の反応	学習の様子
導入	1. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">税金について理解を深めよう。</div> 2. ゲストティーチャーの紹介 ・法人会についての説明	
展開	3. 税金の種類について知る。 ○「知っている税の名前を発表しましょう。」 ◎子どもたちから出なかった税金についてもどんな税なのかの説明を加え、紹介する。 ・「消費税」「増税」「印税」「脱税」 ○税の種類や納め先などについて話を聞く。 ○各税金がどこに納められるか、国税・地方税にわけて説明する。 ・50種類もあるの。 ・聞いたことがないものばかりだ。 ・種類によって、納め先が違うんだ。 4. 納税の義務と税金の使い道について知る。 ○「どうして税金を支払うのでしょうか。」 ◎掲示物を活用して、身近なことに税金が使われていることをわかりやすく説明する。 ◎税金を払うことは国民の義務であることを理解させる。 ・生まれたばかりの赤ちゃんも税金を払わなければならないんだ。 ○税金はどんなことに使われているのでしょうか。 ◎掲示物を活用して、身の回りの様々なものが税金を活用していることを理解させる。	 <p>私たちのくらしと税金について</p>  <p>税金の種類について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのいろいろなことに、税金が使われているんだな。 5. DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見る。 ◎VTRを見ながら、税金がなかったら私たちの生活はどのようになるのかとらえさせる。 消防車や救急車が来なくなる。 道路が作られない。 どんなことにも高いお金がかかる。 	 <p>税金の使われ方について</p>
<p>まとめ</p>	<p>6. 税金についてまとめる。</p> <p>◎税金があることによって、わたしたちが安心、安全に生活できることをまとめ、税金の必要性を理解させる。</p> <p>7. 1億円のレプリカを持ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重い。 こんなに大きいの？ すごい。 	 <p>レプリカの1億円体験</p>

7 事後指導と振り返り

(1)「税に関する新聞づくり」

租税教室で分かったこと、自主学习で深めたことを新聞にまとめた。

- ・児童の作品（一部）

税金新聞

税金の種類

税金は国の使途をまかなうために課税される。税金の種類は、国税と地方税に分かれる。国税には所得税、法人税、酒税、たばこ税、消費税などがある。地方税には住民税、固定資産税、都市計画税、県民税などがある。また、消費税はすべての商品やサービスに課税される。税金は私たちの生活を支えている。税金がなかったら、道路が作られず、消防車や救急車が来なくなる。税金は私たちの生活にとって大切な役割を果たしている。

感想とわかったこと

税金は国のために使われる。税金の種類はいろいろある。税金は私たちの生活を支えている。税金がなかったら、生活は成り立たない。税金は私たちの生活にとって大切な役割を果たしている。

税金新聞

税金の種別

税金にはいろいろな種類がある。税金の種類は、国税と地方税に分かれる。国税には所得税、法人税、酒税、たばこ税、消費税などがある。地方税には住民税、固定資産税、都市計画税、県民税などがある。また、消費税はすべての商品やサービスに課税される。税金は私たちの生活を支えている。税金がなかったら、道路が作られず、消防車や救急車が来なくなる。税金は私たちの生活にとって大切な役割を果たしている。

税金の使われ方

税金は国のために使われる。税金の種類はいろいろある。税金は私たちの生活を支えている。税金がなかったら、生活は成り立たない。税金は私たちの生活にとって大切な役割を果たしている。

感想とわかったこと

税金は国のために使われる。税金の種類はいろいろある。税金は私たちの生活を支えている。税金がなかったら、生活は成り立たない。税金は私たちの生活にとって大切な役割を果たしている。

(2) 「税に関する絵葉書コンクールへの参加」

児童の作品



8 成果と課題

- 租税に関する理解が深まり、自分たちの身の回りのものの多くが、税金によって賄われていることに気付くことができた。
- 「税金がなくなったら、どんな生活になるのか」を理解することによって、納税の義務に対する意識が非常に高くなった。
- ゲストティーチャーによる授業を実施したことで、児童が知らなかった税に関する専門的な知識に触れることができ、税に対する意識が高まった。
- それまでなんとなく、税金は必要と感じていたが、具体的な使われ方を理解したことで、税金の必要性をより感じることができた。
- 税についての興味・関心は今回の租税教育で高まったが、今回だけの授業で終わらせるのではなく、将来、児童が納税者として、国民の義務を果たしていくためにも、今後も機会を見つけ継続的に指導していく必要がある。

9 実践を振り返って

今回、租税の学習を行い、あまりにも子どもたちが税に対して認識していないことに驚き、あらためて、租税教育の必要性を強く感じた。現在、大人でもなかなか税金の仕組みをしっかりと理解している人は少ない。社会科で税については少し触れるが、今回のように詳しく説明してもらうことはなかなかない。小学校のうちから、少しずつ税金について理解させていくことで、将来、大人になった時に納税がなぜ必要なのかを意識して、税金を納めることができると思う。私自身も、大変良い勉強になった。このような学習の機会をいただき、税務署の方々に感謝している。